BIOHAZARD®

Operation Raccoon City

- CONCEPT GUIDE -

BIOHAZARD®
Operation Raccoon City
-CONCEPT GUIDE-

Introduction
イントロダクション

本作は、バイオハザードの望まれたもう一つの進化系である。

バイオハザード史において代表的な舞台の一つである「ラクーンシティ」。過去のタイトルで描かれたこの街での物語の裏側を、これまでよりもさらにダークでドラマチックに紡ぐ至高のホラーガンシューティングが誕生した。シリーズの敵であるアンブレラ側から描いた逆転のストーリー、ハイクオリティで蘇ったラクーンシティ、そしてバイオ世界を彩る個性豊かなキャラクター達。制作スタッフの志は高く、「これまでのシリーズにはない」といった新たな要素を可能な限り凝縮し詰め込んだ本作は、プレイするユーザーにバイオハザードが持つ「安心感」と、それに加えた「新しい刺激」の感覚を共存させるものに仕上がっている。黒で統一された新しい6人の主人公たちは特殊部隊としての凄みを込められたデザイン。戦闘時における役割やそれぞれの特殊能力が異なるため、繰り返し遊んでも飽きのこないプレイが楽しめるようになっている。本作ではゾンビやB.O.W.※の存在も一味違う。多くの作品で敵や恐怖の対象でしかなかったクリーチャーを、武器あるいは盾として利用したり、味方につけるなどして戦闘を行う斬新なシステムが用意されている。そしてスピード感を増したゲームテンポと操作性。ユーザーからの今までのバイオハザードシリーズに対しての意見の一つに「操作性が古い」というものがある。しかしそれに対して「それがバイオらしさを産み出している」といるユーザーもいるのもまた事実である。そんな中、本作の制作陣はそれを上手くハイブリッドさせることを試みた。徹底した操作性の見直しと、バイオらしさの融合である。体力制や弾薬の数が有限であることなど、サバイバルホラーとしての要素を残しながら磨き上げた。多くのユーザーに切望されていた一つのif、「走りながら撃てる」バイオハザードの誕生である。

本作のサプライズはそれだけではない。衝撃の指令内容「レオンを殺せ」。過去のシリーズに幾度となく登場する、バイオハザードの顔とも言えるべきレオンをプレイヤーは見つけ出し、殺害する任務を負う。物語がどう展開し、どういった結末を迎えるのか?注目せずにはいられない。

本作はオンラインによる4人同時協力プレイ、シリーズ初となる8人同時対戦プレイが可能となっている。「こんなバイオハザードを待っていた」。そんな声が世界中から聞こえてくるはずだ。

※…「Bio Organic Weapon（バイオ オーガニック ウエポン）」の略称。有機生命体兵器または生物兵器を指す。

Story
ストーリー

1998年9月…アメリカ中西部に位置する「ラクーンシティ」において、かつてない大事件が起こった。全ての情報と人間の移動が寸断され、陸の孤島と化してしまった街。平和だったこの街で、一体何が起こったのか？

それは人類が今まで体験しえなかった大規模な生物汚染「バイオハザード」であった。特殊なウィルスの蔓延により、人間や動物が凶暴化して人を襲うという異常事態が発生。10万人の住民殆どがそのウィルスに感染し、死してなお街を彷徨う「ゾンビ」となってしまった。ラクーンシティは死の街と化した。ラクーンシティに多くの施設を有するアンブレラ社は、人命救助のために私設部隊「U.B.C.S.」を投入した。しかしそれは世間の目を欺く偽証の名目で、真実は異なっていた。

アンブレラ社こそがこの大惨事の元凶であるt-ウィルスを開発し、街に蔓延させる原因をつくった根源であったのだ。アンブレラ社はU.B.C.S.とはさらに別の特殊部隊「U.S.S.（Umbrella Security Service）」を極秘裏に派遣する。ラクーンシティ各所に点在する情報の消去と、関係者の抹殺。その任務を遂行するため、U.S.S.は静かに動き出した。しかしその頃、米国政府もラクーンシティの異常を察し、特殊部隊「SPEC OPS」の投入を決断する。彼らの目的はアンブレラ社の研究に関する証人の保護と、証拠品の奪取であった。かくして、生ける屍によって蹂躙された死の街ラクーンシティを舞台に、U.S.S.とSPEC OPSの激しい戦闘が開始されることとなった。

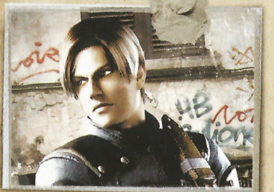
レオン暗殺指令。U.S.S.は彼を見つけ出し、殺害することができるのか？

生存者の抹殺を目論むU.S.S.部隊は、事件当日にラクーン市警に赴任した新米警官「レオン・S・ケネディ」の存在を発見する。U.S.S.はレオンをターゲットし、彼の殺害を目論む。しかし追撃を逃れ奮闘するレオンは、次第にアンブレラとラクーンシティの真実を知ってゆく。ほどなくU.S.S.の最重要暗殺対象となるレオン。だがSPEC OPSも彼の命を守るため、U.S.S.と対立、両部隊による大激戦が繰り広げられることとなった。はたしてU.S.S.は、SPEC OPSの妨害を振り切り、レオン暗殺を達成することができるのだろうか？

Correlation

勢力図

極秘情報を入手したレオン・S・ケネディ。彼の暗殺を目論むU.S.S.と、保護を目指すSPEC OPS、そして人間に襲いかかるクリーチャー。様々な勢力が入り乱れ、激しい戦いがラクーンシティの舞台で繰り広げられる。



■ **LEON S. KENNEDY**（レオン・S・ケネディ）

極秘情報を入手しラクーンシティに乗り込んだが、
U.S.S.に命を狙われる事になる。

敵

暗殺

保護

味方？

対立

対立

排除

餌

餌

排除

U.S.S.

アンブレラ社の極秘任務を担うエリート部隊。生物汚染の証拠隠滅のために派遣された。
作戦の中心として行動を行うのはデルタチーム、通称「ウルフパック」。
優れた戦闘力を誇り、それぞれが異色な経歴を持つ、ならず者の集団である。
旧デルタチームが7月に壊滅したため、最近編成された。

■ **LUPO**（ルポ）

突撃兵。U.S.S.のリーダーで、「狼の母」の
異名を持つ。信条を貫く為なら厳しく、無情である。

■ **BELTWAY**（ベルトウェイ）

工作兵。騒々しく、性質（たち）の悪い冗談を好む。
しかし爆発物に関する知識と技術は確かである。

■ **VECTOR**（ベクター）

偵察兵。「死神」と称されるHUNKに師事していた。
能力は極めて高いが、性格は冷酷で非情である。

■ **BERTHA**（バーサ）

衛生兵。患者の精神面に関してはまるで無頓着だが、
医療に関してずば抜けた技術を持つ。

■ **SPECTRE**（スペクター）

通信兵。痩身で病的、無表情でかつ無気力。
優秀な能力の反面、素行は悪質である。

■ **FOUR EYES**（フォーアイズ）

BC兵。外見とは異なり、冷たく非人間的。熱狂的な
科学マニアで、ウィルス学に関しては天才的である。

SPEC OPS

アメリカ政府直属の特殊部隊で、極秘任務遂行のために組織されている。
アンブレラ社の研究の証拠を掴むため、緊急に招集されラクーンシティへと投入された。
この潜入部隊の中心になるチームの名はエコー6（エコーシックス）。
アメリカ軍を中心に、各地、各部隊より集められた選りすぐりの優秀な人材で構成されている。

■ **DEE-AY**（ディー・アイ）

突撃兵。SPEC OPSのリーダー。
兵士としてもリーダーとしても申し分のない存在。

■ **TWEED**（ツイード）

工作兵。頭の回転は速いが、
プライドが高くその口調はとげとげしい。

■ **WILLOW**（ウィロー）

偵察兵。運動能力が高く、完璧主義。
独特な価値観の持ち主で、神秘性を思わせる女性。

■ **HARLEY**（ハーレー）

衛生兵。酒好きの中年男性。
乱暴だが性格は極めて陽気である。

■ **PARTY GIRL**（パーティーガール）

通信兵。官能的で自信家。
若くして通信兵としての技術は一流である。

■ **SHONA**（ショーナ）

BC兵※。多くの死に接してきた為、
物静かで悲しげだが、仕事に対しては実直である。

※…「BC兵」生物、科学に秀でた兵士。BCは「biological Chemical」の略。

CREATURE

バイオハザードが発生したラクーンシティには
数多くのクリーチャーが存在する。
ゾンビ化した大量の住民は勿論、
生物兵器として開発された数々のB.O.W.が
人間を襲い、立ちはだかる。

Character

キャラクター／U.S.S.

U.S.S.

アンブレラ特殊部隊

- Umbrella Security Service -

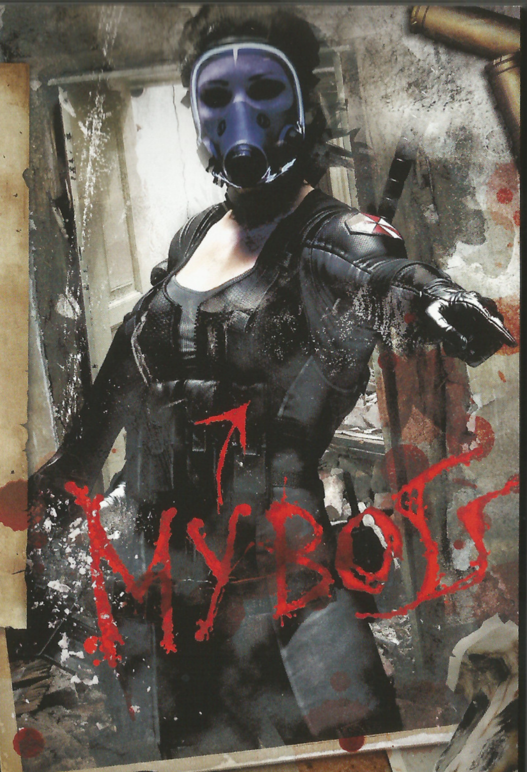
アンブレラ社の利益に反する対象を、排除、殲滅するための暗躍部隊。
組織でも一部の者しか知り得ない極秘のエリート集団で、
完璧に訓練された猟犬として、コマンドの命令を忠実にこなす。
身体能力が高い20-30代の年齢層の者が多いが、
そこにあるのは命令を完遂するための冷酷な思考プロセスのみである。
情報共有のための会話さえ最低限にしか行わず、
死に際でさえ感情を多くは見せない。
そのエンブレムはアンブレラ社の剣となる、彼らの鋭く尖った存在を象徴したものとなっている。

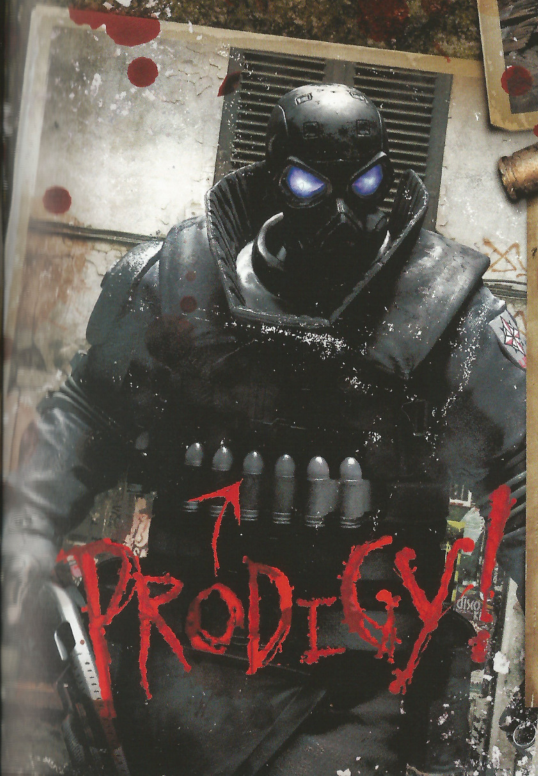
LUPO（ルポ）

本　名：Karena Lesproux
人　種：フランス人
性　別：女
年　齢：38歳
血　液：AB型
兵　種：突撃兵
能　力：高精度射撃・近距離戦闘

備　考

「狼の母」の異名を持つ彼女は部隊のリーダーであり、効率的な行動のためであればどこまでも厳しく、非情に振舞う。そんな彼女の信条は、男性隊員にも一目置かれる存在となっている。かつてフランスの特殊部隊に所属していたが、結婚を機に除隊。子を授かりしばらく家族三人で暮らす日々を送るが、夫の家庭内暴力によって子供が傷ついた際に激昂し、彼を殺害する。法廷で無罪となったが、女手一つで子を育てるには経済的に厳しく、個人でアンブレラ社と契約を交わし、再び戦いの舞台へと戻った。Lupoにとっては銃を撃つこと、こそが、彼女の子供を養うことなのである。





BELTWAY（ベルトウェイ）

本　名：Hector Hivers
人　種：プエルトリコ人
性　別：男
年　齢：29歳
血　液：B-型
兵　種：工作兵
能　力：爆発物、トラップ設置／解除

備　考

部隊の中でもひときわ巨躯で目立つ存在の彼は、タチの悪いジョークが好きで騒々しく、任務中も遠慮のない口調で文句などを吐き捨てる。性格は陰湿ではなくどちらかといえば陽気な部類だが、子供の頃に学校のトイレを花火で爆破したり、米軍所属時に、上官をブービートラップにはめて死に至らしめ軍法会議にかけられるなど、爆発物を使ったイタズラには周囲の理解を得られるはずもなく、できれば付き合いたくはない、やっかいなならず者である。だが爆発物に関する知識と腕は確かで、部隊にとっては強力な戦力の一つとなっている。

VECTOR（ベクター）

本　名：不明
人　種：日本人
性　別：男
年　齢：30歳
血　液：O+型
兵　種：偵察兵
能　力：潜入・暗殺

備　考

「死神」と称されるHUNKに師事していた、冷酷で非情な男。かつて共に特殊部隊での任務に付き、その戦闘技術を叩きこまれた。物静かではあるが確固たる自信に満ち溢れており、自分と同等以上と認めた人間以外には興味を示さない。戦いにおいては「敗者には死を」の信条があり、弱者にはひとかけらの同情すらも感じることがない。戦場を音もなく駆け抜け素早く敵を仕留めるその姿は、まるで現代によみがえった忍者を思わせる。

BERTHA（バーサ）

本　名：Michaela Schneider
人　種：ドイツ人
性　別：女
年　齢：34歳
血　液：B+型
兵　種：衛生兵
能　力：回復・戦闘補助

備　考

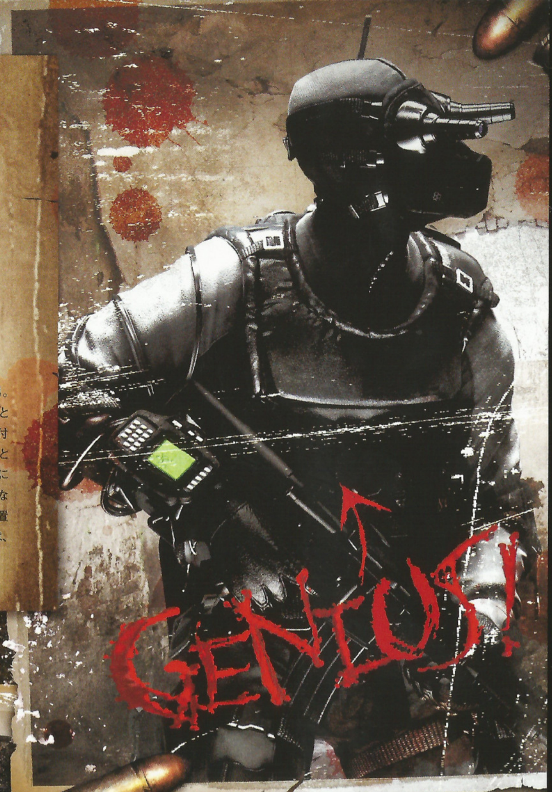
医療に関して素晴らしい技術を持つ女性で、部隊にとっては心強く、戦場においては欠かせない存在となっている。しかし彼女は傷ついた対象にさして興味はなく、こと患者の精神面のケアに関しては無頓着、無神経であり、麻酔無しで切開手術を行うなど、まるで容赦がない。兵士が激痛で大声を上げても全く意に留めることは無く、むしろ喜んでいるかのようである。彼女は人体に関する豊富な知識を兼ね備えているので、しばしば敵兵の拷問役に借り出されることがあるが、その度、いつも本職顔負けの成果を上げている。幼いころから生物解剖が好きで民間病院の看護士になったが、その普通ではない感覚が災いし解雇され、紆余曲折を経て現在に至る。

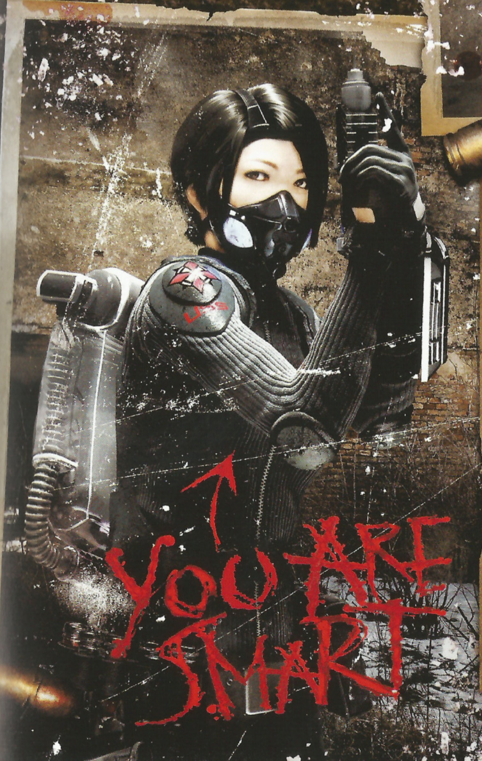
SPECTRE（スペクター）

本　名：Vladimir Bodrovski
人　種：ロシア人
性　別：男
年　齢：34歳
血　液：AB-型
兵　種：通信兵
能　力：索敵・通信傍受

備　考

東ヨーロッパの血筋を引いたような風貌で、痩身で無感情な男。Spectreはしばしば無気力な睡眠に近い状態で数時間もずっと動かずにいることがあるが、そうしている間、彼の存在は人々に気付かれない。彼は旧ソビエト連邦の出身で、国家諜報機関の技師として働いていたが、一般人をストーキングして秘密を握り、それをネタに金を奪ったり服従させたりと、病的な悪行を繰り返していた。優秀な能力が故に長らくはそれが見過ごされていたが、最終的には法的処置により、ロシアを去ることとなった。過去や素行を問わないアンブレラは、彼にとってうってつけの新巣だといえる。





FOUR EYES（フォーアイズ）

本　名：Christine Yamata
人　種：日系アメリカ人
性　別：女
年　齢：28歳
血　液：A-型
兵　種：BC兵
能　力：ウィルス、クリーチャーの利用

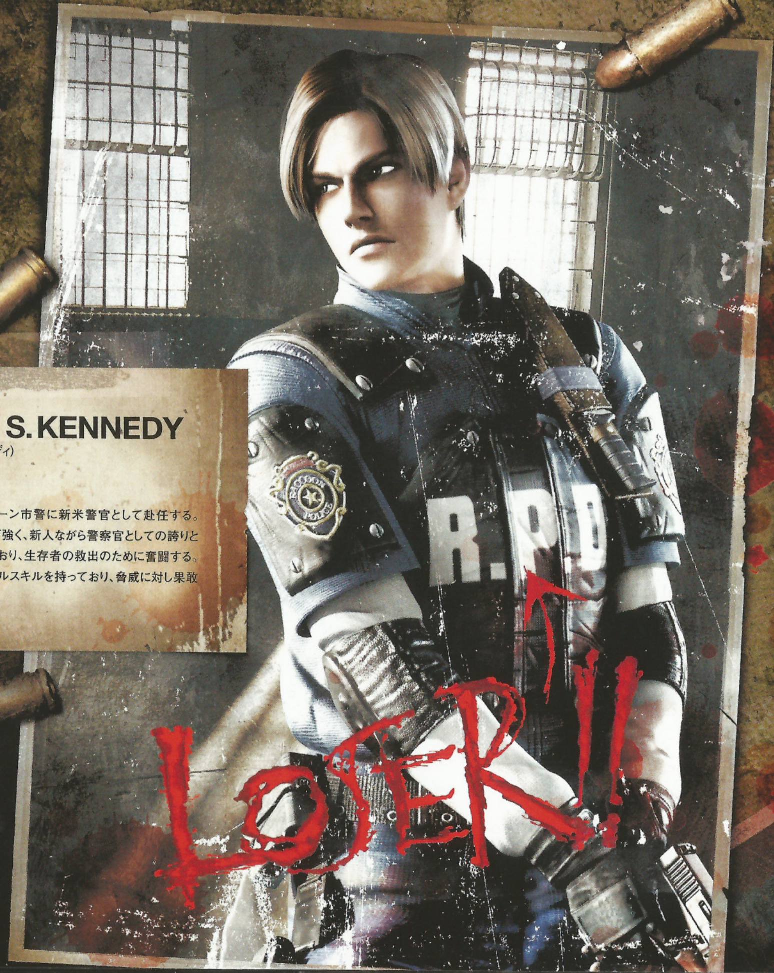
備　考

Four Eyesは小柄で一見可愛らしく見えるアジア系の女性だが、ぞっとするほど冷淡で、非人間的である。熱狂的な生物化学マニアでウィルス学に没頭しており、その他のことにはまるで興味を示さない。彼女は子供の頃に生物化学に魅せられ、以降、年齢にそぐわない合理的な視野を持つようになった。彼女は人命が失われることなど、ちょっとした発展のための代償とぐらいにしか思っていない。そのため人体実験の機会があれば嬉々として積極的にそれを行ってきた。Four EyesがU.S.S.部隊に身を置く最大の理由が、アウトブレイクを最も近い位置で経験するためであることは、彼女を知る誰の想像にも難くない。

Character

キャラクター／その他

次世代クオリティで蘇ったラクーンシティ。その舞台で本作品を彩るのは、豪華なキャラクター達である。
過去のバイオハザードシリーズにおいて登場した彼らとは、今作の物語の様々な箇所で相見えることとなる。
そこではこれまでのシリーズで描かれなかった、彼らの新しい活躍を見ることができる。
また過去作では心強い仲間であったキャラクターも、今作では手強い強敵として登場し、プレイヤーを苦しめるだろう。
様々な経緯で集った彼らの命運が、今再び交差する。

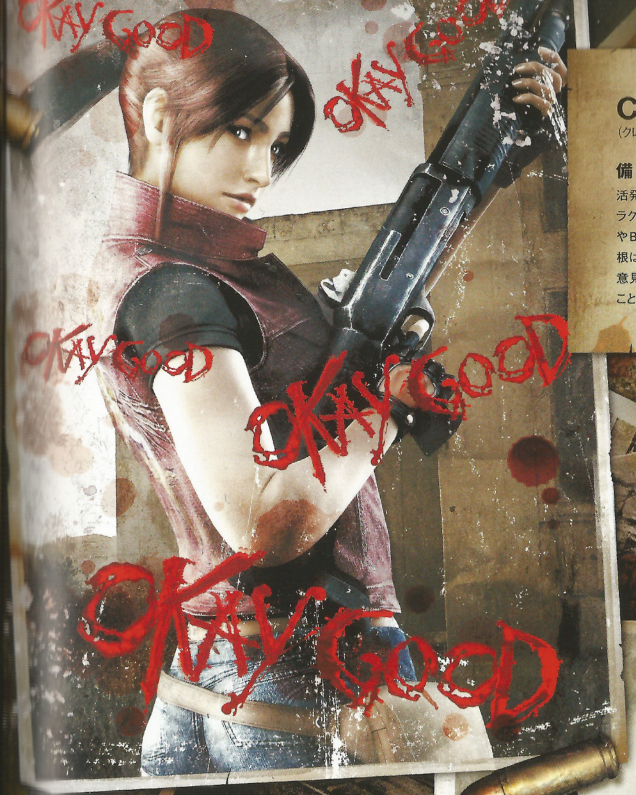


LEON S. KENNEDY

（レオン・S・ケネディ）

備　考

渦中にあるラクーン市警に新米警官として赴任する。人一倍正義感が強く、新人ながら警察官としての誇りと使命感を持っており、生存者の救出のために奮闘する。天性のサバイバルスキルを持っており、脅威に対し果敢に立ち向かう。

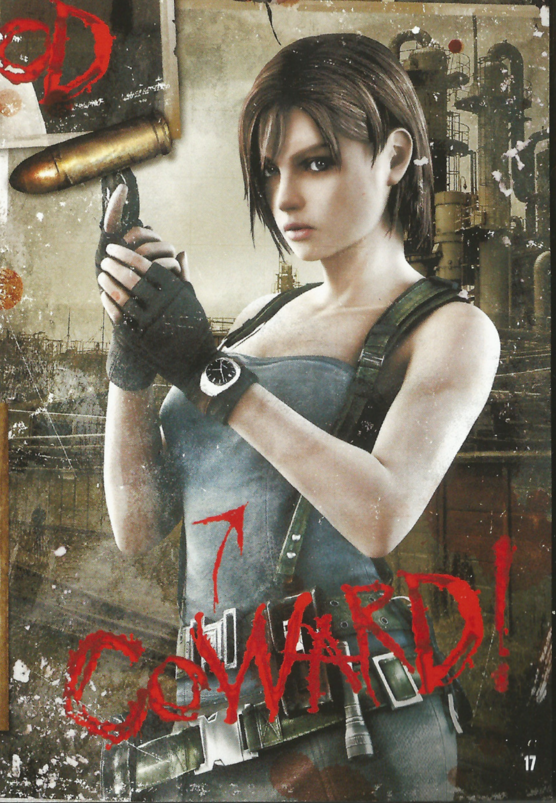


CLAIRE REDFIELD

（クレア レッドフィールド）

備　考

活発な女子大生。音信が途絶えた兄クリスを捜すため、ラクーンシティを訪れる。勝気な性格が手伝ってゾンビやB.O.W.が相手でも臆することなく立ち向かうが、根は優しい。目的意識が強く行動的であるため、他人の意見に耳を貸さず、共に行動する者をしばしば振り回すことがある。



JILL VALENTINE

（ジル バレンタイン）

備　考

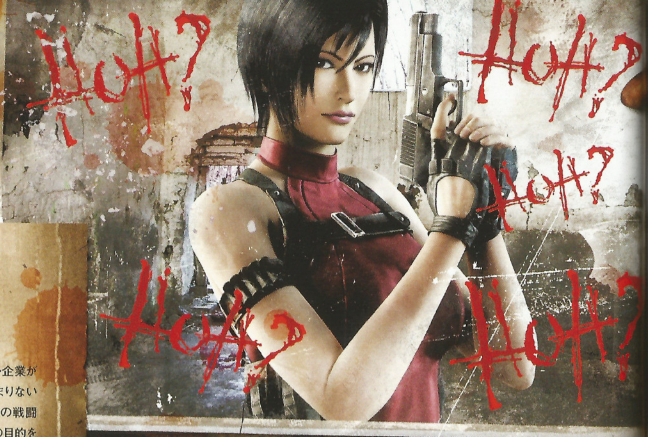
かつての洋館事件（初代バイオハザードの物語）から生還した彼女はアンブレラを追うが、進展の無い捜査状況に業を煮やし、単独で関係施設の調査を行なっていた。直情的な気質のため、思ったことがすぐに行動、口調にも反映される。しかしただ考えなしに動く訳ではなく、そこには彼女のゆるぎない意志がある。真面目で正義感が強く、アンブレラ社の悪事を暴くために真実を追求し続ける。

Character
キャラクター／その他

ADA WONG
(エイダ ウォン)

備　考

G-ウィルス奪取のために、アンブレラ社のライバル企業がラクーンシティに潜入させた女スパイ。異常極まりない状況においても動じることのない冷静さと、一流の戦闘技能を持っている。組織に属してはいるが、独自の目的を達成するために行動する姿も、度々見受けられる。



NICHOLAI GINOVAEF
(ニコライ ジノビエフ)

備　考

旧ソ連の特殊部隊スペツナズ在籍時に、数多くの極秘任務をこなした男で、兵士としての技能はずば抜けている。特にブービートラップの名手。人命救助のために派遣されたU.B.C.S.の一員だが、実はB.O.W.の戦闘データ、医療データの収集という監視員としての密命も受けている。小隊分隊長でありながら、仲間や部下を報酬のために裏切り、罠にはめて惨殺するなど非道で残忍な男である。

SHERRY BIRKIN
(シェリー バーキン)

備　考

ウィリアム・バーキンの一人娘。両親からの愛に恵まれず育ったため、人間不信な面があり、自分だけで行動することに慣れている。感情を表になかなか出さず、口数も少ない。好意で接してくれる人に対し、どう向き合うかを知らずに育った不憫な少女。

HUNK
(ハンク)

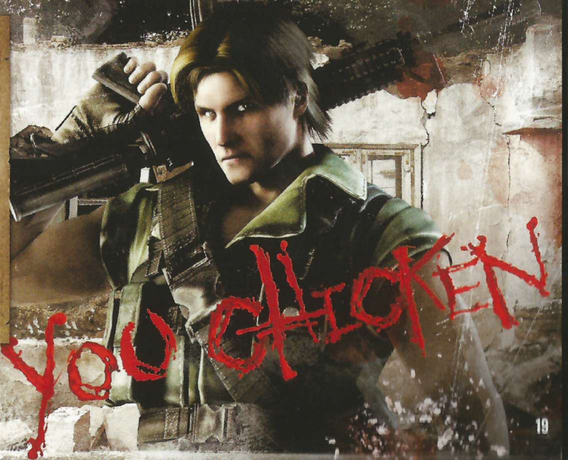
備　考

G-ウィルス奪取のために極秘裏に派遣された、U.S.S.α部隊の一員。数々の困難なミッションを確実にこなし生還してきた彼は、その完璧さから「死神ハンク」の異名を持つ。U.B.C.S.のニコライとはその戦闘技術及びミッションの成功率から、ライバルといえる関係である。謎に包まれた男であるが、迷いの無い話しぶりから任務遂行のための強い意志が伺える。

CARLOS OLIVEIRA
(カルロス オリヴェイラ)

備　考

人命救助のためにラクーンシティへと派遣されたU.B.C.S.の一員。南米で反政府ゲリラを行っていた経歴を持つ。軽口が多く、異常事態のさなかでも軽口を絶やさないラフな性格をしている。幼いころから戦火の中で育ったこともあり、危険な状況に対しても躊躇なく立ち向かう勇敢さを持っている。仲間を助けるためであれば、死中にすら自ら飛び込む熱血漢である。



Creature

クリーチャー

敵対部隊に加え、もう一つの敵勢力として登場するクリーチャーの数々。

過去のシリーズに登場した敵と今作から登場の新クリーチャーが、かつてない脅威としてプレイヤーに襲いかかる。

ZOMBIE

(ゾンビ)

備　考

人間が一度t-ウィルスに感染してしまうと抗う術は少ない。感染に伴う心肺の停止と自我の喪失により、純粋な食欲のみで生物を襲う化け物へと変貌する。それが“ゾンビ”である。知能は人間の頃と比べ著しく低下し動きも鈍感であるが、自律神経以外が停止しているため痛覚が失われている。そのため、ゾンビ自身は恐怖を感じることがなく、無心で人間を襲う脅威性を持っている。

ZOMBIE DOG

(ゾンビ犬)

備　考

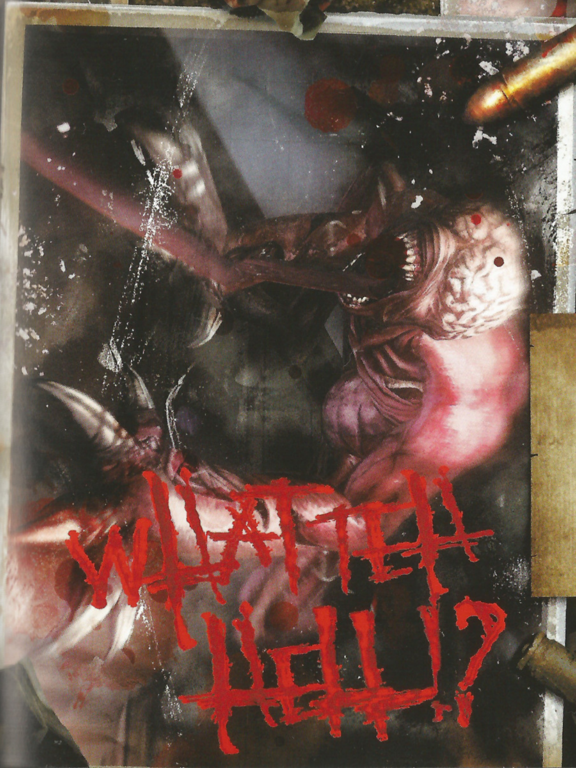
犬が偶発的にt-ウィルスに感染して生まれた存在。生前の影響を色濃く残し、移動速度、跳躍力、攻撃力、さらに集団性をも有している。対象に狙いを定めると疾走して追撃、飛びかかり目標を仕留めるその性質は、人間のゾンビには無い脅威を出会う者に与えることとなる。

CRIMSON HEAD

(クリムゾンヘッド)

備　考

t-ウィルスに感染したゾンビが、活動停止後に更に強力に変態を遂げた姿。腐敗した肌は細胞の活性化によって赤みがかり、ゾンビの時には無かった鋭い爪が生成されている。通常のゾンビとは比べ物にならない運動性と凶暴性で、動くものすべてに襲いかかる。



LICKER

(リッカー)

備　考

筋細胞が増強されて運動能力が向上した、ゾンビの突然変異体。頭部の約半分を占める露出した脳と異常に長い舌が特徴的で、ゾンビを遥かに上回る運動性と攻撃性を持っている。異常発達した骨格により天井を這うように移動するなど、特異な行動を見せる。

NEMESIS
（ネメシス）

備　考

新開発した寄生生命体 NE-αを細胞レベルでタイラントに埋め込み、知能と戦闘能力を強化した個体。B.O.W.としての自己判断力に優れているため、複雑な重火器の扱いも可能となっている。目標を認識したらその絶命を確認するまで追跡を止めないことから、“追跡者”の異名を持つ。

TYRANT
（タイラント）

備　考

B.O.W.の理想形として完成したT-103型タイラント。命令を遵守するための優れた思考能力と圧倒的な戦闘能力を有し、耐久性も極めて高い。生命維持機能が限界に達するとパワーリミッターを解除し、スーパー化する特性も備わっている。

G・BIRKIN
（Gバーキン）

備　考

瀕死の重傷を負ったウィリアム・バーキン博士が自身にG-ウィルスを投与し、変貌した姿。人間であった頃の面影は残すもののその人格と理性は失われ、凶暴化している。不死身とも思える生命力と強靭な腕力ですべてを叩き潰す。

HUNTER
（ハンター）

備　考

爬虫類と人間のDNA、そしてt-ウィルスを掛け合わせて生成された異形のB.O.W.。驚異的な敏捷性と跳躍力で相手を追尾し、強力な爪を武器に相手を圧倒する。単純な命令ならば的確に遂行する知能を備えているため、まさに戦場におけるハンター（狩人）と言える。

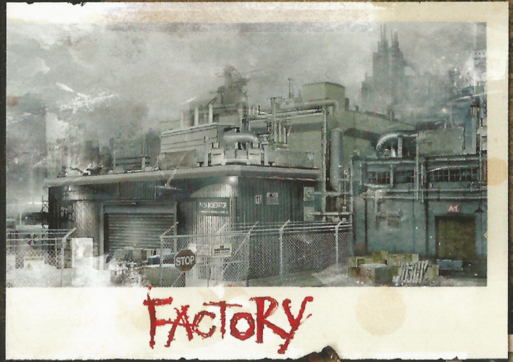
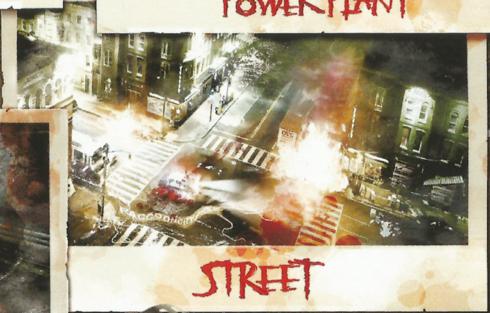
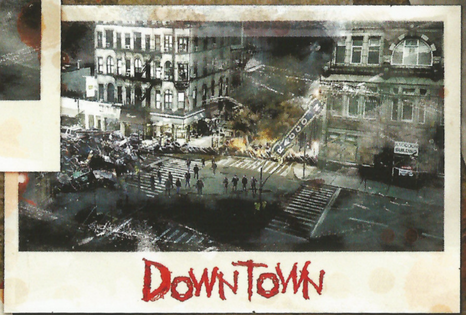
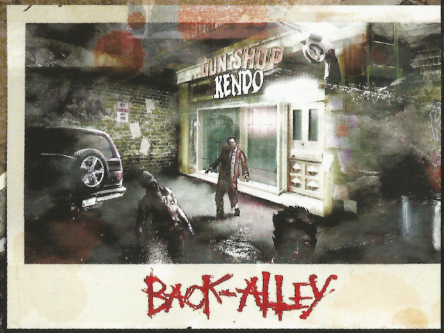
NEMESISβ
（ネメシスβ）

備　考

アンブレラ社のヨーロッパ支部で開発されたNE-αをベースに、ラクーンシティ研究所が開発した進化系パラサイト。宿主に完全依存するαと違い、特殊な触手で直接宿主の延髄や神経に直接コネクトを行いコントロールすることを可能とした、汎用タイプの寄生生命体である。単独での行動とゾンビへの寄生が確認されているが、その際対象生命体の限界を超えた能力を引き出し、強化することが判明している。

Stage
ステージ

本作を彩る様々なステージ

新旧の融合

過去のシリーズに登場した場所や建造物に加え、本作で新たに追加されたロケーションの数々。
ハイクオリティグラフィックで描かれた様々なステージが、プレイヤーを本作の世界へと引き込む。